

行政視察等報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 村 松 幸 昌

令和2年8月5日下記のことについて、調査を行ったので、概要について報告いたします。

会派「凌雲の会」行政視察について	
視察先	焼津市 「大井川港」
視察の目的	<p>・大井川左岸に位置する本港は、河川土砂が沿岸漂砂となって航路を埋没させる為、港口部分の規定水深維持が課題となっている。 今回は、港湾災害復旧工事現場を視察した。</p>
<p>1 参加議員 ・渋谷英彦 ・松島和久 ・石田江利子 ・須崎章 ・藁科寧之 ・河合一也 ・増井好典 ・内田修司 ・安竹克好 ・村松幸昌</p> <p>2 工事名等 1) 事業名 = 「令和元年度 大井川港 航路 元年港湾災害復旧工事」 2) 工事箇所 = 焼津市飯淵地先 3) 契約金 = 60,577,000 円 4) 工期 = 令和2年5月1日より10月26日 5) 請負業者 = みらい建設工業(株)静岡営業所</p> <p>3 概要 1) グラブ浚渫 $V=19,793 \text{ m}^3$ (立米) 2) 土運船運搬 海上養浜 直轄海岸 (藤守川左岸)</p> <p>4 視察内容 ・昨年の台風第19号の影響により航路が土砂で埋没したため、元年度港湾災害復旧工事となった。 ・当日は、大井川港管理事務所福與所長より、今年度主要事業の説明を受けた。台風被害でなくても、大井川の河川土砂の影響から航路の規定水深確保が大きな課題となっているとの説明を受けた。 今回は、「令和元年度 大井川港 航路 元年港湾災害復旧工事」の最終段階の視察内容となった。航路を確保するために、事前深浅図に基づき浚渫した土砂を、養浜区域までの運搬、浚渫土砂投入、検収等の作業工程中グラブ浚渫掘削作業、土運船へ投下する工程をグラブ船に乗船し視察研修した。(当日の資料は別添する)</p> <p>5 所感 ・港湾航路確保作業は、港湾運営上運搬船誘致には必須業務である。予算執行額も高額となる事業である。又大井川港は市営港であるので投資効果を上げるには、一層のポートセールス施策の進捗が港湾活性化上必要と感じた。</p>	

乗船前の説明



乗船時の検温と手指消毒の様子



船内での説明



現場説明

